

環境農林水産常任委員会資料

令和3年12月7日、8日

農 政 水 産 部

目 次

I 予算議案

議案第1号 令和3年度宮崎県一般会計補正予算（第16号）

（別途配布の議案P1）

（常任委員会資料P1）

II 議会提出報告

損害賠償額を定めたことについて

（別途配布の報告書別紙1）

（常任委員会資料P3）

III その他報告

みやざきローカルフードプロジェクト（LFP）の取組について

（常任委員会資料P4）

I 予算議案

議案第1号 令和3年度宮崎県一般会計補正予算(第16号)

(1)令和3年度歳出予算課別集計表

(単位：千円)

会計名	課名	令和3年度			令和2年度		
		現計予算額	11月補正額	補正後の額	当初予算額	最終予算額	
		A	B	C=A+B	D	E	
一 般 会 計	農政企画課	1,751,141	0	1,751,141	1,713,765	1,564,653	
	農業流通ブランド課	2,037,398	0	2,037,398	1,431,661	2,280,821	
	農業普及技術課	3,771,860	0	3,771,860	3,212,055	3,580,586	
	農業担い手対策課	2,385,234	0	2,385,234	2,495,584	1,835,176	
	農産園芸課	2,542,134	11,113	2,553,247	3,486,888	3,821,284	
	農村計画課	3,055,979	0	3,055,979	5,764,220	5,965,445	
	農村整備課	13,851,920	0	13,851,920	14,466,651	13,951,827	
	水産政策課	2,361,324	0	2,361,324	1,508,359	2,141,717	
	漁業管理課	3,998,416	0	3,998,416	3,899,611	3,900,753	
	畜産振興課	7,626,423	0	7,626,423	5,835,404	6,443,175	
	家畜防疫対策課	450,500	0	450,500	434,206	1,977,057	
		合計	43,832,329	11,113	43,843,442	44,248,404	47,462,494
特別 会計	沿岸漁業 改善資金	水産政策課	302,193	0	302,193	287,133	262,798
		合計	302,193	0	302,193	287,133	262,798
農政水産部計		44,134,522	11,113	44,145,635	44,535,537	47,725,292	

(2) 繰越明許費(追加)

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	金額
農村計画課	農林水産業費	農業費	国営造成施設管理体制整備促進事業	6,466
漁業管理課	農林水産業費	水産業費	県単漁港建設事業	12,000
畜産振興課	農林水産業費	畜産業費	畜産基盤再編総合整備事業	85,120
計 3事業				103,586

(3) 繰越明許費(変更)

(単位:千円)

課名	款	項	事業名	金額	
				補正前	補正後
農村整備課	農林水産業費	農業費	公共農村総合整備対策事業	115,000	175,000
	農林水産業費	農地費	公共土地改良事業	839,000	1,474,000
	農林水産業費	農地費	公共農道整備事業	60,000	80,000
	農林水産業費	農地費	公共農地防災事業	370,000	559,034
漁業管理課	農林水産業費	水産業費	水産基盤(漁港)整備事業	322,200	764,200
計 5事業				1,706,200	3,052,234

増額 1,346,034千円

Ⅲ その他報告

みやぎきローカルフードプロジェクト（LFP）の取組について

農業流通ブランド課

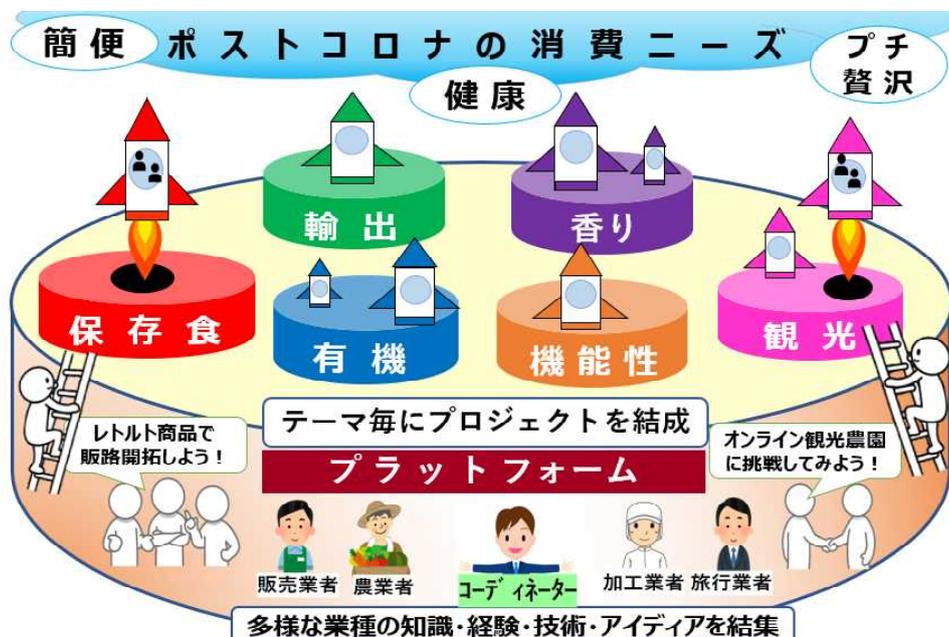
1 取組の背景・趣旨

農林漁業者が生産から加工、販売までを一者で担う6次産業化推進に加え、新たな取組として、加工・販売業者、観光業者など多様な食農関係者と連携し、それぞれの強みを出し合いながら地域食資源を活用した新ビジネスの創出に挑戦する「ローカルフードプロジェクト（LFP）」を推進する。

※ LFP: Local Food Project の略

2 推進イメージ

LFPプラットフォーム(事務局：(公社)宮崎県農業振興公社)を設立し、消費ニーズの変化に対応した新商品・サービスの開発により本県農林水産物の消費回復・販路拡大を図る。



《 LFPプラットフォーム イメージ図 》

3 プラットフォームの活動状況

(1) LFP入会者数(R3.11月末現在) 99者 ※ 取組のある全国22都道府県中、最多(農林漁業者37者、加工業者29者、販売業者12者、その他21者)

(2) 取組内容

実施日	項目	内容	場所	参加者数
7月 2日	設立式	LFPの意義・理解醸成	宮崎観光ホテル 及びオンライン	151名
8月 2日 8月20日	ワーク ショップ	LFPのコンセプトづくり、 プロジェクトアイデアの共有等	県食品開発センター 及びオンライン	延べ 210名

4 プロジェクトの概要

現在、8つのプロジェクトが活動している。

テーマ	No	プロジェクト内容	参画者数
有機	1	綾町産有機農産物を使用した新商品の開発	6者
	2	有機農産物等の新物流サービスの開発	4者
観光	3	観光農園等によるオンラインツアーの開発	9者
機能性	4	県産野菜・果実を使用した機能性飲料の開発	6者
保存食	5	高千穂町産農産物を使用した新商品・サービス開発	3者
	6	県産椎茸を使用した新商品開発	4者
輸出	7	みやざき地頭鶏の海外向け新メニュー開発	2者
香り	8	日南産グレープフルーツを使用した新商品開発	4者

5 主なプロジェクトの内容

(1) 綾町産有機農産物を使用した新商品の開発

綾町有機農業者グループ、加工・販売業者等6者による調理の簡便性・健康志向等の需要に対応した同町産有機農産物使用の新商品開発

○お湯で戻すだけで手軽に調理できる乾燥野菜ミックス、ニンジンの葉を活用したペースト・粉末加工商品等を開発予定

○都市部の保育園やオフィスビルを対象に「まとめ送り・まとめ買い」を試行予定



(2) 有機農産物等の新物流サービスの開発

農業者グループ、航空業者等4者による本県農畜産物の高品質輸送に向けた新物流サービスの開発

○朝どれの有機野菜や当日処理のみやざき地頭鶏等を同日夕方に都市部店舗へ空輸で届けるサービスを開始

○新宿のホテルで開催された宮崎フェア(11/1~11/30)で輸送食材を使ったメニューを展開



(3) 観光農園等によるオンラインツアーの開発

県内観光農園、大手旅行業者等9者による自宅で優雅な時間を楽しむ新消費ニーズに対応した観光農園オンラインツアーの開発

○コロナ禍で来県できない外国人や旅行が困難な高齢者等にも本県農産物をPR

○大手旅行業者が「みやざき特集」として8農園で実施予定。特定地域をシリーズ化したオンラインツアーは全国初

